

＜平成28年度 アンケート結果の考察＞

＜児童アンケート結果について＞

①～③（生活面）について

①「学校が楽しい」の肯定的意見が3%増加して92%になり、②「学校には、仲の良い友達がいる」の肯定的意見が1%増加して99%になり、③「元気よく挨拶している」の肯定的意見が13%増加して86%になりました。

特に今年度は、「挨拶」を重点的に取り組んだ結果、③「元気よく挨拶している」の肯定的意見が13%増加したことを嬉しく思います。挨拶は、人間関係の基本です。お互いに「すすんで挨拶」ができるように、今後も指導を継続していきたいと思います。しかし、まだ否定的な意見を持っている児童が①は8%、③は14%有ります。更に多くの児童が①「学校は楽しい」、③「元気よく挨拶している」と感じられる学校を目指して、一人一人の児童を大切にされた教育活動を実践していきたいと思います。

④～⑤（学習面）について

④「友達や先生の話をよく聞いている」の肯定的意見が6%増加して97%になったことを嬉しく思います。⑤「学校の勉強はよくわかる」の肯定的意見が2パーセント減少して88%になりました。子どもが学校の中で一番長く時間を過ごすのは、各教室での授業です。子どもにとって、その授業が、「学ぶことの楽しさ」や「わかる喜び」を体験でき、とても楽しく次の時間が待ち遠しくなるような「わかる授業・楽しい授業」を目指して、教職員が一丸となって授業の工夫・改善に努めていきたいと思います。

⑥～⑧（学校生活）について

⑥「休み時間は外でよく遊んでいる」の肯定的意見が14%増加して85%になり、⑦「係活動や清掃活動などを頑張っている」の肯定的意見が5%増加して95%になり、⑧「校舎内では、走らずに静かに歩くようにしている」の肯定的意見が13%増加して86%になりました。

⑥については、必ずしも休み時間に外に出て遊ぶ必要はなく、読書等をして室内で過ごすことも決して悪いことではありませんが、天気の良い日に週に1回程度は外に出て、元気にグラウンドで遊んでくれることを願っています。また、⑧「校舎内では、走らずに静かに歩くようにしている」の否定的な意見が21%ありますが、校舎内を走ることは事故や怪我につながる危険性がありますので、今後も指導を継続していきたいと思います。

⑨～⑩（生活指導に関連する事柄）について

⑨「困ったときに相談できる人がいる」の肯定的意見が1%増加して91%になりましたが、まだ否定

的な意見が9%あることが気になります。更に家庭（保護者）との連携・協力を密にして、肯定的な意見が100%になるように努力したいと思います。

また、⑩「相手を気傷つけないよう言葉づかいに気をつけている」の肯定的意見が3%増加して87%になりましたが、まだ否定的な意見が13%あります。学級指導で自分達の言動を振り返らせる等、子ども同士の人間関係の改善に努めていきたいと思っています。

<保護者アンケート結果について>

①～②（教育目標・特色ある教育活動）について

①「学校は、教育目標に掲げる『めざす子ども像』に向かって、取り組みを進めている」の肯定的意見が5%増加して94%になり、②「学校では、ファミリー活動を取り入れるなど、特色ある教育活動が行われている」の肯定的意見が1%増加して98%になりました。『めざす子ども像（自ら考え行動する子ども）』の育成やファミリー活動等の特色ある教育活動について、今年度の取り組みを今後も継続・発展させていきたいと思っています。

③～④（学習活動）について

③「子どもは、学校の学習がよく分かっている」については、肯定的意見が1%減少して90%になりました。児童アンケートの⑤「学校の勉強はよくわかる」の肯定的意見が2パーセント減少して88%になった事と共に、このことをしっかりと受け止めて「わかる授業・楽しい授業」の研修を進めると共に、宿題等の家庭学習について、更に保護者と連携・協力して学習習慣の確立を図っていききたいと思います。また、④「子どもは、学校行事を通して成長している」の肯定的意見が1%増加して99%になったことをとても嬉しく思います。

⑤～⑥（施設・設備、緊急体制等の管理面）について

⑤「学校の施設や設備・環境は整備されている」の肯定的意見が8%増加して72%になりましたが、まだまだ十分ではありません。学校の設置者（教育委員会等）とも連携して、可能な範囲で改善を図りたいと思います。⑥「学校は、子どもの安全に配慮し、緊急体制を整えるなどの対策を講じている」の肯定的意見が6%増加して95%になりましたが、今後も気を緩めることなく危機管理体制の見直しを進めていきたいと思っています。

⑦～⑧（学校生活）について

⑦「子どもは、学校が楽しいと言っている」の肯定的意見が昨年度と同じ95%になりました。低い数値ではありませんが、更に100%に近づけるように頑張りたいと思います。

⑧「子どもは、集団生活のマナーやルールが身につけている（本年度の重点目標は「あいさつ）」の肯

定的意見が15%と大幅に増加して89%になりました。児童アンケートの③「元気よく挨拶している」の肯定的意見が13%増加して86%になったこととあわせて、とても嬉しく思います。今後も今年度の取り組みを継続・発展させて行きたいと思います。

⑨～⑩（相談体制、家庭・地域との連携）について

⑨「子どものことについて、学校に相談できる」の肯定的意見が5%増加して90%になりましたが、更に学校の垣根を低くして、何でも気軽に相談できる体制を築いて行きたいと思います。また、⑩「学校は、家庭・地域と連携して子どもの教育にあたっている」の肯定的意見が8%増加して92%になりました。子どもは、家族の愛情に包まれた日常生活の中で豊かな心を育み、地域での様々な体験や人々との交流を通して、社会性を身に付けていきます。このように「子どもの健やかな成長」は、学校の教育活動だけでは完結出来ません。学校と家庭・地域がしっかりと連携し、それぞれの役割をしっかりと果たしていくことがとても大切だと考えています。そして、その連携・協力の一助として、学校便りは毎月1回定期的に発行し、ホームページをほぼ毎日更新して学校（子ども達の様子）を発信しています。現在、ホームページには1日に約300～400件のアクセスがありますが、今後も継続して行きたいと思います。

<成果と課題について>

本校は今、とても落ち着いています。私は、4月に本校に赴任してすぐに、時間やルール・マナーが守れる本校児童の素晴らしさに気づきましたが、それは、今までの本校職員の努力成果であると同時に、家庭や地域の教育力の賜物だと実感しています。よく、子どもは「親の言う通りにはならないが、親のする通りにはなる」と言われますが、9月の運動会やコミの文化祭等の行事で、保護者や地域の皆様方の姿を拝見しましたが、北陵小学校区全体が、ルール・マナーが守れるとても素晴らしい街であり、この街の皆さんに支えられて今の北陵小学校があるのだと思います。

そして、時間やルール・マナーが守れる事にプラスして、今、私がとても素晴らしいと感じているのが、子ども達の「素直さと優しさ」です。この「素直さと優しさ」は、どこから生まれるのかと、色々と考えましたが、それはやはり各家庭で、子ども達が家族からの愛情を十分に受けて大切に育てられ、一人一人の子ども達が「自分が大切にされている」という実感を持っているからこそ、「素直」になれて「他人にも優しく接する」ことができるのだと思います。これは、本当に素晴らしいことで、本校の宝だと実感しています。

学校と家庭は、教育を押し進める車の両輪ですが、その車を正しい方向に進めて行くためには、学校と家庭とがしっかりと連携・協力することがとても大切です。今回の児童・保護者アンケートの結果を基にして、教職員が一丸となって学校における「教育活動の質」の更なるの向上を図り、子ども・保護者・地域から、誇りに思われる北陵小学校を築いていきたいと願っています。